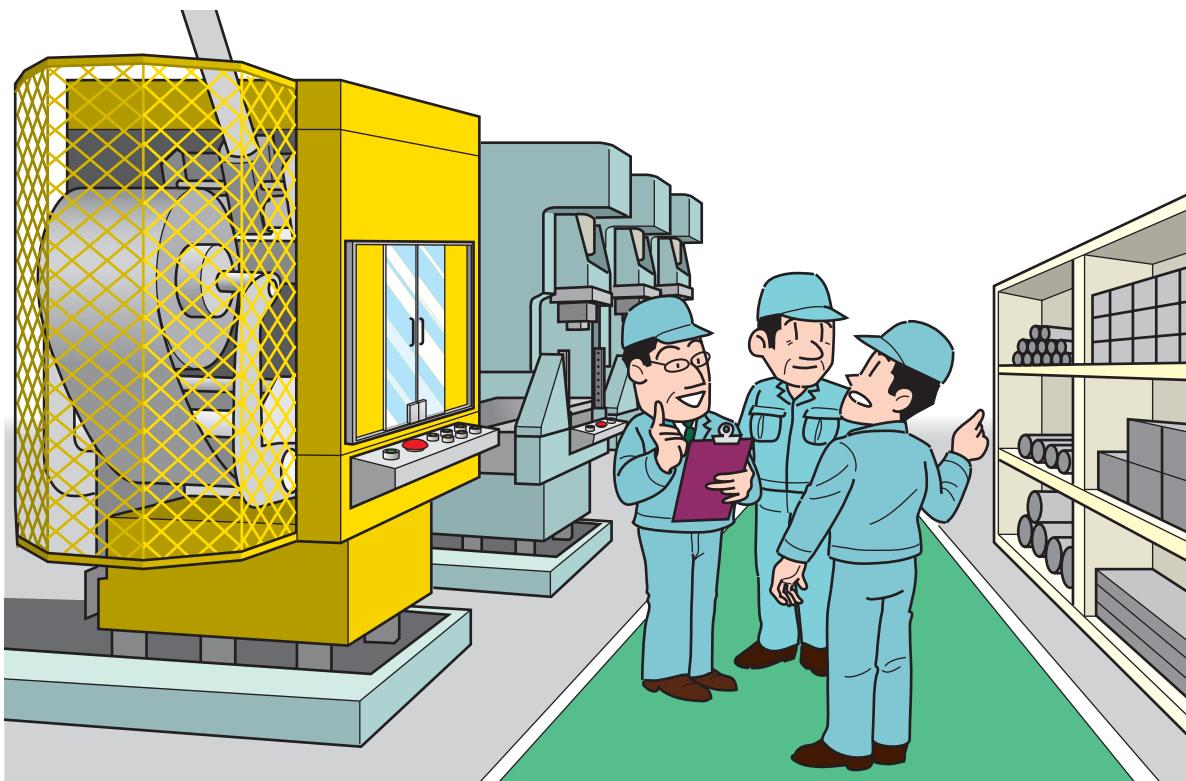


留意事項 3：日頃から取り組んでいる4S活動、危険予知活動、安全パトロールなどの活動や災害・事故事例等から把握されている危険性又は有害性についてもれなく記入します。



留意事項 4：リスクの見積もりにおけるバラツキや誤差を小さくするために労働災害に至る過程（プロセス）をもれなく具体的に表現します。たとえば危険予知訓練（KYT）の第1ラウンド「危険要因のとらえ方と表現の仕方」を参照し、危険性又は有害性と現象の組合せで次のように表現します。

危険性又は有害性 + 現象
「～なので、～して」「～なので」 + 「～になる」、「～する」

なお、初めから全ての工程（職場）で実施できない場合はできるところから行い、順次、対象範囲を広げ継続して実施していきます。次の4リスクの見積もり、5リスク低減対策の検討は、リスクアセスメント担当者及び推進メンバーがリスクアセスメント実施一覧表（様式1）を基に検討します。

4 リスクの見積もりと対策の優先度の設定（リスクレベルの評価）

リスクアセスメント担当者及び推進メンバーは、リスクアセスメント実施一覧表（様式1）に記入された「危険性又は有害性と発生のおそれのある災害」ごとに、**評価基準の例**（別表2.P37）を基にして、リスクを見積もりリスクレベル（優先度）を評価します。その際、リスクレベルは、すでに実施されている対策をも加味したもの（予防措置の信頼性など）として評価されます。したがってリス

クレベルの評価を行うに当たり、「3既存の災害防止対策」欄に既存の予防措置を記入し、その内容を踏まえた評価結果を「4リスクレベルの評価」欄に記入します。

留意事項5：リスクレベルの評価において重大性（災害の程度）は低く見積もりがちです。災害防止の立場から重大性（災害の程度）は最悪の場合を想定した評価（見積もり）が必要です。重大性を高く評価（災害程度が大きい）する意見が出されている場合は、内容を十分検討して適正な評価（見積もり）を行います。

例えば、階段からの転落事故についてみると、一般的には骨折又は打撲となることが多いのですが、対象となる階段の状況（その高さや手すりの有無、落下地点がコンクリートなど）を現場で考えたとき、どのように見積もるか、その内容を十分検討することが大切です。

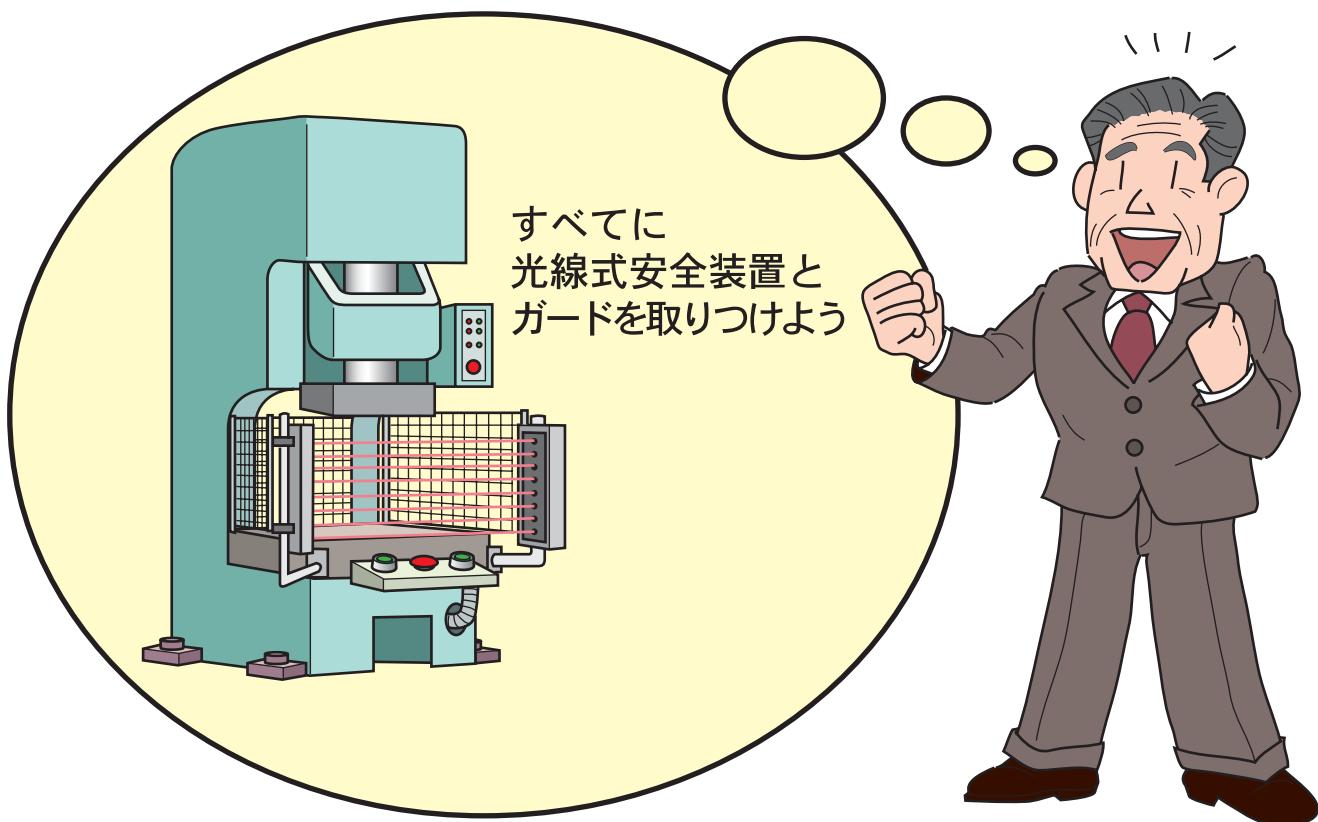


リスクアセスメント推進メンバー会議

5 リスク低減対策と対策実施後のリスクレベルの検討

リスクアセスメント担当者及び推進メンバーは、「危険性又は有害性と発生のおそれのある災害」ごとに、リスクレベルに対する措置が必要か、必要な場合どのようなリスク低減対策が考えられるか、さらにそのリスク低減対策が実施された場合のリスクは除去されるのか、あるいはそのリスクレベルはどの程度下げられるのかについて検討し、それぞれ「5リスク低減対策案」と「6対策案想定リスク」欄に記入します。

留意事項6：リスク低減対策の内容は、リスク低減対策と災害防止対策の例（別表3.P40）を参照し検討します。リスク低減対策において、機械・設備などの安全対策を実施する（安全装置を適正に設置し運用するなど）ことにより重大性（災害の程度）は下がりリスクレベルも下がりますが、一般的に作業手順の見直しや保護具の着用など人の行動に委ねる対策だけでは、重大性は低減しないと考えます。言い換えますとリスクレベルがIV又はIIIと高い場合は、人の行動に委ねない機械・設備などの安全対策が是非とも必要です。リスクレベルが低減されていないものはあるがままを記録し、リスクが存在していることを知らしめます。あわせて、適正な保護具の着用、安全な作業手順の遵守のための教育訓練の場面やその実行の徹底を図る場面においては、保護具の着用や作業手順を遵守した場合にはリスクレベルが下がることを理解してもらうことが安全衛生対策上必要です。



6 リスクアセスメント実施状況の記録と見直し

前項で検討されたリスクレベルとリスク低減対策案さらにその対策案の想定リスクについて、リスクアセスメント担当者及び推進メンバー（又は安全衛生委員会等）による会議で審議し、事業場としてリスク低減対策の実施優先度を判断し具体的な活動へ進みます。

リスク低減対策の実施状況又は安全衛生計画について「7 対応措置」欄に記入します。次年度以降に実施するリスク低減対策は、今後の安全衛生計画に活かすことが望されます。

また、リスクアセスメント実施一覧表（様式1）に沿って行ってきたリスクアセスメントが適切であったかどうか、見直しや改善が必要かどうか検討し、次年度以降のリスクアセスメントを含めた安全衛生目標と安全衛生計画の策定、さらに安全衛生水準の向上に役立てることが望れます。リスクアセスメント実施一覧表は実施記録として保存します。